

令和7年度「地域学校協働本部事業」 放課後子ども教室の取組事例

「葛尾キッズクラブ」(福島県葛尾村)

取組の概要や経緯

- ・平成25年度に避難先の三春町で学校再開と同時に事業を開始、平成30年度より葛尾村で実施している。
- ・児童の放課後の居場所づくりと、様々な体験・交流・学習活動を通して、子どもの社会性、自主性、創造性豊かな人間性の醸成を図ることを目的としている。

内容

- ・対象 : 葛尾小学校児童(全児童参加)
- ・実施日 : 平日の放課後、長期休業
- ・実施場所 : 葛尾小学校(生活科室、体育館、多目的室)
- ・運営 : 葛尾村教育委員会
- ・活動内容 : 自主学习、工作、運動、ヨガ教室、移動学習、体験学習 等

ポイント

- ①少人数の特色を活かし、家庭のような温かい雰囲気の中で安心して過ごすことのできる環境づくりに努めている。
- ②実施場所である葛尾小学校の教頭先生を交えた運営会議を月1回実施し、教職員等がキッズクラブに訪室し、スタッフと学校間の情報共有が図れている。
- ③村の移住定住事業で地域に関わるアーティストや、地域住民、学生等、異年齢・異職種の方々との交流を実施している。

成果

- ・R6は体験活動がヨガ教室のみだったが、R7はヨガ教室以外に、土偶制作、手芸、フラダンス体験、料理教室、音楽鑑賞、収穫体験等、様々な体験活動を実施することができた。
- ・R6は4人のスタッフが児童の見守りを行っていたが、R7は7人のスタッフが携わり、多くの地域住民との交流を通して、児童の人間性の醸成に寄与することができた。

【体験活動・登録スタッフ数の推移】

	R6	R7
体験活動(回)	13	20
スタッフ(人)	4	7



【手芸体験の様子】



【土偶制作体験の様子】



【移動学習(福大にて)音楽教室の様子】

今後の方向性

- ・夏季休業中に様々な体験活動を実施したが、参加児童が少なかったため、保護者や児童への周知方法の工夫に努めていく。
- ・R8は特別な支援を要する児童が参加予定である。人員配置や環境整備、小学校との連携強化に努めていく。